



東川町

概要

東川町は、旭川市との間を結ぶ民間路線バスと町内移動を担う町営バスが住民生活に不可欠な公共交通となっているが、利便性の問題やマイカーの普及により町営バスの利用は低調であるほか、天人峡温泉や旭岳温泉等の大雪山国立公園内の観光地への観光交通の整備が課題となっている。このため、民間路線バスと町営バスの連携、町営バスの路線再編、町内の観光地への観光交通の整備等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- 旭川電気軌道(株)(東川線、天人峡・旭岳線)
- 町営バス(東忠別線、北忠別線、東雲・上岐登牛線)
- 東川町観光協会の委託運行(旭川空港、旭山動物園)
- 専用バス(幼児センタースクールバス、第二小学校スクールバス、いきいきセンターバス、診療所通所バス、福祉バス)

地域公共交通の課題

- 町営バスの利用が低調
- 天人峡温泉・旭岳温泉等への観光交通の整備

調査の主な内容

- 現況交通実態調査
- 利用者ニーズ把握調査(町民ヒヤリング)
- 町営バスの路線再編の検討

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- 町営バスの路線再編の検討
- 民間路線バスと町営バスの連携の検討
- 天人峡温泉、旭岳温泉等への観光交通の整備の検討



東川町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

協議会開催状況

3回開催

分科会等開催状況

-

左記開催状況は H21.1.30現在

現況交通実態調査

- 各種統計資料による町の人口、世帯、交通概況の調査及び市内バス路線や民間バス等住民移動実態調査を実施。(H20.10~12月)
- 利用者ニーズ把握調査(町民ヒヤリング)
- 各自治振興会に加盟する関係団体、教育関係者等に通勤・通学者状況を聞き取り、バス輸送利用実態を把握。

町営バスの路線再編の検討

- 路線バスの改善に向けた現状の利用状況を勘案し、路線・時刻の検討及びデマンド運行の路線、時刻を具体的に考案。

その他の調査等

- 町内各地域コミュニティーセンターにて、住民意識調査を目的とした住民説明会(地域懇談会)を開催。

(H20.10.11,28,29日 3回開催、各10~20名参加)

予定している連携計画の内容

町営バスの乗換・接続を考慮したダイヤ設定(実施主体:東川町、実施時期:H21)

- 現行の3路線2台から3路線3台体制とし、町内5小中学校の登下校時への対応、民間バスとの接続に配慮のうえ実証運行を実施。

デマンドバスの運行(実施主体:民間交通事業者・東川町、実施時期:H21~23)

- 上記町営バスの3路線において、利用者が少ない日中時間帯におけるデマンド型乗合タクシーの実証運行を実施。

バス利用の付加価値の向上(実施主体:商工会・商店街・観光協会・自治振興会・東川町、実施時期:H21~)

- 商工会、商店街等との連携によるバス利用特典クーポンの発行、車内での情報発信等、環境に配慮したBDF燃料の使用を検討。

自己評価のポイント

乗降調査、町民ヒヤリング等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において合意形成を図っている。

二次評価のポイント

一部の事業についてはさらに検討の具体化を進めるようアドバイスする。